

【表紙】

| | |
|------------|----------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成26年11月13日 |
| 【四半期会計期間】 | 第11期第3四半期（自平成26年7月1日至平成26年9月30日） |
| 【会社名】 | 株式会社ワイヤレスゲート |
| 【英訳名】 | WirelessGate, Inc. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役CEO 池田 武弘 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都品川区東品川二丁目2番20号 |
| 【電話番号】 | 03-6433-2045 |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役CFO 管理本部長 小島 聡 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都品川区東品川二丁目2番20号 |
| 【電話番号】 | 03-6433-2045 |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役CFO 管理本部長 小島 聡 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第10期 第3四半期連結 累計期間 | 第11期 第3四半期連結 累計期間 | 第10期 |
|----------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| 会計期間 | 自 平成25年 1月 1日 至 平成25年 9月30日 | 自 平成26年 1月 1日 至 平成26年 9月30日 | 自 平成25年 1月 1日 至 平成25年12月31日 |
| 売上高 (千円) | 5,157,312 | 6,573,836 | 7,055,499 |
| 経常利益 (千円) | 574,773 | 580,377 | 784,517 |
| 四半期(当期)純利益 (千円) | 354,082 | 367,503 | 483,145 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 354,082 | 367,503 | 483,145 |
| 純資産額 (千円) | 1,926,344 | 2,143,943 | 2,064,337 |
| 総資産額 (千円) | 3,204,233 | 3,634,621 | 3,481,939 |
| 1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円) | 35.91 | 36.30 | 48.85 |
| 潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円) | 32.12 | 32.90 | 43.71 |
| 自己資本比率 (%) | 60.1 | 58.9 | 59.3 |

| 回次 | 第10期 第3四半期連結 会計期間 | 第11期 第3四半期連結 会計期間 |
|-------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| 会計期間 | 自 平成25年 7月 1日 至 平成25年 9月30日 | 自 平成26年 7月 1日 至 平成26年 9月30日 |
| 1株当たり四半期純利益金額 (円) | 12.94 | 10.82 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 平成25年9月1日付で株式1株につき2株の株式分割を、また、平成26年1月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。第10期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の連結子会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、当第3四半期連結会計期間において、当社を存続会社、連結子会社であった株式会社ワイヤレステクノロジー・ラボを消滅会社とする吸収合併を実施しております。

また、当社グループは、ワイヤレス・ブロードバンド関連事業の単一セグメントであり、セグメント情報の区分に重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、新たに締結した契約は次のとおりであります。

| 相手方の名称 | 契約名称 | 契約内容 | 契約期間 |
|------------|------------------------------------|----------------------------|-------------------------------|
| 株式会社NTTドコモ | 第2種卸Xiサービスの提供に関する契約書 | 第2種卸Xiサービスの仕入れに関する契約 | 平成26年7月25日から有効 (契約期間の定めなし) |
| 株式会社NTTドコモ | 第2種卸FOMAサービスの提供に関する契約書 | 第2種卸FOMAサービスの仕入れに関する契約 | 平成26年7月25日から有効 (契約期間の定めなし) |
| 株式会社NTTドコモ | 第3種卸Xiサービス(卸Xiコピキタス)の提供に関する契約書 | 第3種卸Xiコピキタスプランの仕入れに関する契約 | 平成26年7月25日から有効 (契約期間の定めなし) |
| 株式会社NTTドコモ | 第3種卸FOMAサービス(卸FOMAコピキタス)の提供に関する契約書 | 第3種卸FOMAコピキタスプランの仕入れに関する契約 | 平成26年7月25日から有効 (契約期間の定めなし) |

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

(1)業績の状況

当第3四半期連結累計期間(2014年1月1日～2014年9月30日)における業績は、

| | | | |
|--------|-------------|-------|----------------------|
| 売上高 | 6,573,836千円 | 前年同期比 | 1,416,524千円増(27.5%増) |
| 営業利益 | 583,201千円 | 前年同期比 | 7,696千円増(1.3%増) |
| 経常利益 | 580,377千円 | 前年同期比 | 5,604千円増(1.0%増) |
| 四半期純利益 | 367,503千円 | 前年同期比 | 13,421千円増(3.8%増) |

となりました。

売上高に関しましては、収益基盤である「ワイヤレスゲートWi-Fi」、「ワイヤレスゲートWi-Fi+WiMAX」サービスを中心に順調に推移しております。

利益面につきましては、期初に予定していなかったLTE通信対応のSIMカード販売開始の準備に伴い、保守・運用費が発生しました。9月には「ワイヤレスゲートWi-Fi+LTE SIMカード」のサービスを開始したことに伴う回線調達コストや販売促進費等が増加したものの、売上高及び売上総利益が増加したため、営業利益は前年同期比1.3%増の583,201千円となりました。

事業ごとの取組みは以下のとおりであります。なお、当社グループは単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

ワイヤレス・ブロードバンド事業

イ．公衆無線LANサービス

家電量販店において積極的な告知活動を行う等、新規会員の獲得に力を入れてまいりました。この結果、当第3四半期連結累計期間における公衆無線LANサービスの売上高は663,375千円(前年同期比7.4%増)となりました。

ロ．モバイルインターネットサービス

9月にサービスを開始した「ワイヤレスゲートWi-Fi+LTE SIMカード」をはじめとする新規会員の更なる獲得を図るべく、家電量販店における積極的なキャンペーンの展開や広告宣伝に注力致しました。この結果、当第3四半期連結累計期間におけるモバイルインターネットサービスの売上高は5,810,681千円(前年同期比28.6%増)となりました。

ワイヤレス・プラットフォーム事業

ワイヤレス・ブロードバンド事業の基盤プラットフォームを活用した電話リモートサービスの新規会員獲得に注力し、収益源の更なる拡大を図ってまいりました。また、当第3四半期連結会計期間において、大型の認証プラットフォーム案件の売上を計上しております。この結果、当第3四半期連結累計期間におけるワイヤレス・プラットフォーム事業の売上高は85,291千円（前年同期比298.7%増）となりました。

その他

Wi-Fi環境イネーブラー事業における機器販売及び保守料、並びにガラポンTV、「ヨドバシカメラ@wig card（プリペイドカード）プラン」の販売等になります。

Wi-Fi環境イネーブラー事業につきましては、段階的に受注件数及び引合件数が増加してきております。また、ガラポンTVにつきましても販売は堅調に推移しております。この結果、当第3四半期連結累計期間におけるその他売上高は14,488千円（前年同期比2,066.8%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における資産・負債及び純資産の状況とそれらの要因は次のとおりです。

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における総資産の額は、前連結会計年度末に比べ152,682千円増加し3,634,621千円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の額は、前連結会計年度末に比べ237,429千円減少し2,949,145千円となりました。これは主に、現金及び預金が507,462千円減少した一方で、売掛金が228,637千円増加したためであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の額は、前連結会計年度末に比べ390,111千円増加し685,476千円となりました。これは主に、通信設備及びサーバ等の取得に伴い有形固定資産が338,753千円増加したため、及びソフトウェアの取得に伴い無形固定資産が47,550千円増加したためであります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債の額は、前連結会計年度末に比べ73,076千円増加し1,490,678千円となりました。これは主に、未払法人税等が275,127千円減少した一方で、買掛金が279,428千円及びその他が63,750千円増加したためであります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ79,605千円増加し2,143,943千円となりました。これは主に、四半期純利益367,503千円の計上及び配当の実施250,310千円により利益剰余金が117,193千円増加した一方で、自己株式の取得により自己株式が64,484千円増加したためであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 主要な設備

前連結会計年度末において計画中であった重要な設備の新設について、当第3四半期連結累計期間に完了したものは、次のとおりであります。

| 会社名 | 事業所 (所在地) | 事業の名称 | 設備の内容 | 投資総額 (千円) | 投資調達 方法 | 完了年月 |
|------|--------------------|-------------------------|----------------|--------------|--------------------|-------------|
| 提出会社 | 本社 (東京都 品川区) | ワイヤレス・ ブロードバン ド事業 | 通信設備及 びサーバ等 | 373,856 | 増資資金 及び自己 資金 | 平成26年 9月 |

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 完成後の増加能力につきましては、合理的な算出が困難なため、記載を省略しております。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 28,800,000 |
| 計 | 28,800,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年9月30日) | 提出日現在発行数(株) (平成26年11月13日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|----------------------------------------|------------------------------|------------------------------------|-----------|
| 普通株式 | 10,146,800 | 10,146,800 | 東京証券取引所 (マザーズ) | 単元株式数100株 |
| 計 | 10,146,800 | 10,146,800 | - | - |

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成26年11月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (株) | 発行済株式 総数残高 (株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金 増減額 (千円) | 資本準備金 残高 (千円) |
|---------------------------------|-----------------------|----------------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 平成26年7月1日～ 平成26年9月30日 (注) | 4,000 | 10,146,800 | 500 | 846,317 | 500 | 785,576 |

(注)新株予約権の行使による増加であります。

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成26年9月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|-----------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 20,000 | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 10,123,000 | 101,230 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 3,800 | - | - |
| 発行済株式総数 | 10,146,800 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 101,230 | - |

【自己株式等】

平成26年9月30日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有 株式数(株) | 他人名義所有 株式数(株) | 所有株式数の 合計(株) | 発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%) |
|--------------|-----------------------|------------------|------------------|-----------------|--------------------------------|
| 株式会社ワイヤレスゲート | 東京都品川区東品川 二丁目2番20号 | 20,000 | - | 20,000 | 0.20 |
| 計 | - | 20,000 | - | 20,000 | 0.20 |

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

(1) 新任役員

| 役名 | 職名 | 氏名 | 生年月日 | 略歴 | 任期 | 所有株式数 (千株) | 就任年月 |
|-----|-------|-------|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------------|----------------|
| 取締役 | I R室長 | 須永 直樹 | 昭和56年 9月4日 | 平成17年4月 株式会社ジェーワン入社 平成17年9月 サーチファーム・ジャパン株式会社入社 平成19年2月 株式会社ソリッドレゾリューションズ入社 平成19年7月 株式会社ベルパーク入社 平成24年6月 当社入社 コーポレート・マネジメン グループ マネージャー 平成25年1月 当社 I R室 室長 平成26年9月 当社 取締役 I R室長就任 平成26年10月 当社 取締役 I R本部長就任(現任) | (注)1 | - | 平成26年 9月25日 |

(注) 1. 平成26年9月25日開催の臨時株主総会の終結の時から平成26年12月期に係る定時株主総会の終結の時までであります。

2. 平成26年9月25日開催の臨時株主総会において、法令に定める監査役の員数を欠くことになる場合に備え、会社法第329条第2項に定める補欠監査役1名を選任しております。補欠監査役の略歴は以下のとおりであります。

| 氏名 | 生年月日 | 略歴 | 所有株式数 (千株) |
|-------|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| 青木 理恵 | 昭和45年 10月9日 | 平成7年10月 太田昭和監査法人(現 新日本有限責任監査法人)入所 平成12年7月 大和証券SBキャピタル・マーケット株式会社(現 大和証券株式会 社)入社 平成16年4月 青木公認会計士事務所開設(現在に至る) 平成22年6月 株式会社ドリコム 監査役(現任) | - |

(2) 役職の異動

| 新役名 | 新職名 | 旧役名 | 旧職名 | 氏名 | 異動年月日 |
|-------|--------|-------|-------|-------|------------|
| 代表取締役 | C E O | 代表取締役 | C T O | 池田 武弘 | 平成26年10月1日 |
| 代表取締役 | - | 代表取締役 | C E O | 松本 洋一 | 平成26年10月1日 |
| 取締役 | I R本部長 | 取締役 | I R室長 | 須永 直樹 | 平成26年10月1日 |

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日) |
|--------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,481,613 | 1,974,151 |
| 売掛金 | 660,924 | 889,562 |
| 商品 | - | 661 |
| 仕掛品 | - | 18,963 |
| その他 | 47,988 | 70,848 |
| 貸倒引当金 | 3,952 | 5,041 |
| 流動資産合計 | 3,186,574 | 2,949,145 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 55,451 | 394,204 |
| 無形固定資産 | 12,398 | 59,948 |
| 投資その他の資産 | 227,514 | 231,323 |
| 固定資産合計 | 295,364 | 685,476 |
| 資産合計 | 3,481,939 | 3,634,621 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 930,777 | 1,210,206 |
| 未払法人税等 | 311,645 | 36,517 |
| その他 | 169,187 | 232,938 |
| 流動負債合計 | 1,411,611 | 1,479,662 |
| 固定負債 | | |
| 資産除去債務 | 5,990 | 11,016 |
| 固定負債合計 | 5,990 | 11,016 |
| 負債合計 | 1,417,601 | 1,490,678 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 833,820 | 846,317 |
| 資本剰余金 | 773,210 | 785,576 |
| 利益剰余金 | 457,306 | 574,500 |
| 自己株式 | - | 64,484 |
| 株主資本合計 | 2,064,337 | 2,141,909 |
| 新株予約権 | - | 2,033 |
| 純資産合計 | 2,064,337 | 2,143,943 |
| 負債純資産合計 | 3,481,939 | 3,634,621 |

(2) 【四半期連結損益及び包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日) |
|-----------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 売上高 | 5,157,312 | 6,573,836 |
| 売上原価 | 3,562,671 | 4,743,983 |
| 売上総利益 | 1,594,641 | 1,829,852 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,019,136 | 1,246,650 |
| 営業利益 | 575,504 | 583,201 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 6 | 4 |
| その他 | 18 | 72 |
| 営業外収益合計 | 25 | 77 |
| 営業外費用 | | |
| 株式交付費 | 589 | 793 |
| 自己株式取得費用 | - | 2,024 |
| 為替差損 | 167 | 82 |
| 営業外費用合計 | 756 | 2,901 |
| 経常利益 | 574,773 | 580,377 |
| 特別損失 | | |
| 本社移転費用 | - | 3,413 |
| 特別損失合計 | - | 3,413 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 574,773 | 576,964 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 232,243 | 183,715 |
| 法人税等調整額 | 11,552 | 25,746 |
| 法人税等合計 | 220,690 | 209,461 |
| 四半期純利益 | 354,082 | 367,503 |
| 四半期包括利益 | 354,082 | 367,503 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 354,082 | 367,503 |

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

当第3四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であった株式会社ワイヤレステクノロジー・ラボは、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日) |
|-------|---------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 減価償却費 | 18,095千円 | 23,474千円 |

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)

1. 配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 配当の原資 | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 |
|----------------------|-------|----------------|-------|-----------------|-------------|------------|
| 平成26年3月26日 定時株主総会 | 普通株式 | 250,310 | 利益剰余金 | 50 | 平成25年12月31日 | 平成26年3月27日 |

(注) 1株当たり配当額は、記念配当(創立10周年記念)10円を含んでおります。

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成26年5月8日開催の取締役会決議に基づき、自己株式20,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が64,484千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が64,484千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)

当社グループは、ワイヤレス・ブロードバンド関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)

当社グループは、ワイヤレス・ブロードバンド関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日) |
|---------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------------|
| (1) 1株当たり四半期純利益金額 | 35円91銭 | 36円30銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額(千円) | 354,082 | 367,503 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(千円) | 354,082 | 367,503 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 9,859,333 | 10,125,241 |
| (2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 | 32円12銭 | 32円90銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益調整額(千円) | - | - |
| 普通株式増加数(株) | 1,163,318 | 1,044,426 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要 | - | 第10回新株予約権 (平成26年3月26日取締役会決議) 新株予約権の数 3,000個 |

(注) 当社は、平成25年9月1日付で株式1株につき2株の株式分割を、また平成26年1月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年11月7日

株式会社ワイヤレスゲート
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中川 一之 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 奥見 正浩 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ワイヤレスゲートの平成26年1月1日から平成26年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益及び包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ワイヤレスゲート及び連結子会社の平成26年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。